

## 2-3. 第2期「総合戦略」改訂の概要③

資料 6

【新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた地方創生の今後の方向性】

- ①感染症による意識・行動変容を踏まえた地方へのひと・しごとの流れの創出
- ②各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進

←  
<国の姿勢>

各地域の自主的・主体的な取組を基本としつつ、地域のみでは対応しきれない面を支援。

目指すべき将来

将来にわたって  
「活力ある地域社会」  
の実現

人口減少を和らげる

結婚・出産・子育て  
の希望をかなえる

魅力を育み、  
ひとが集う

○地方に住みたい希望の  
実現

地域の外から稼ぐ力を  
高めるとともに、  
地域内経済循環を実現する

人口減少に適応した  
地域をつくる

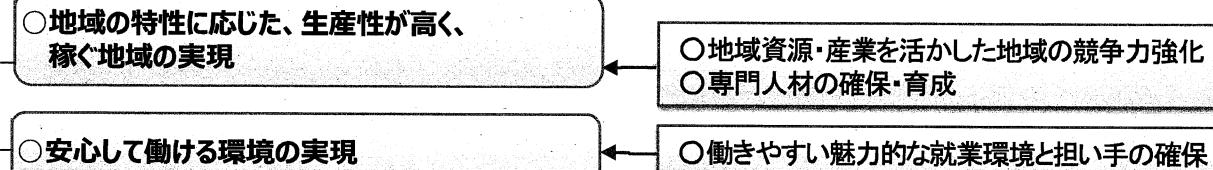
「東京圏への一極集中」  
のは是正

基本目標

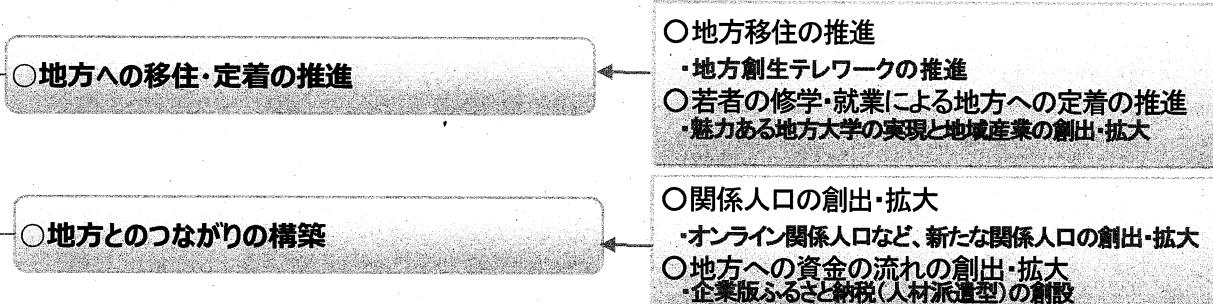
主な施策の方向性

実現可能な目標

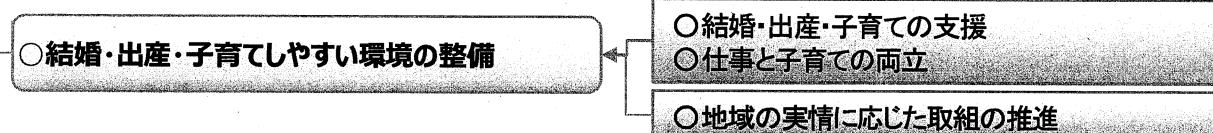
### 1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする



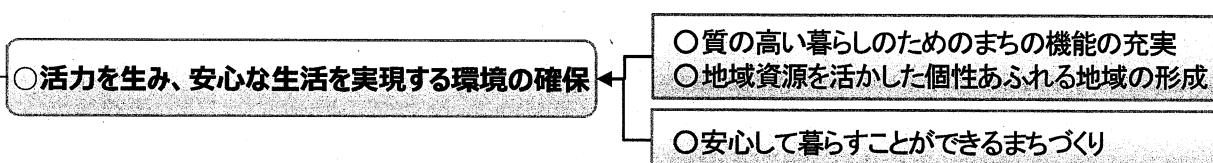
### 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる



### 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる



### 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる



**新しい時代の流れを力にする**

○地域におけるSociety 5.0の推進  
スーパー・シティ構想の推進など、地域におけるデジタル・トランスマネージメントによる  
地域課題の解決

**多様な人材の活躍を推進する**

○多様なひとびとの活躍による地方創生の推進  
○誰もが活躍する地域社会の推進

○地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり